

## 平成24年度 事業計画

### 1 基本方針

ご高承のとおり、わが国の少子高齢社会は急速に進展しており、65歳以上の高齢者は、平成27年には、市人口の36%と予測されております。

このような状況の中で、豊かで活力ある地域社会を実現していくためには、高齢者が長年にわたり培ってきた知識や経験を生かし、生涯現役として全員参加の社会づくりを推進していくことが重要であります。

とりわけ戦後の日本を牽引してきた団塊の世代が60歳代前半を占める中で、シルバー人材センターの存在意義とその役割はますます重要なものとなっております。

昨年は、未曾有の被害となった東日本大震災をはじめ、原子力災害、また集中豪雨による災害など、想像をはるかに超える事変にみまわれ、暗いニュースが多かったのではないかと思います。現在の社会情勢・経済情勢の中にあつてシルバー人材センターを取り巻く環境は大変厳しいことから事業実績は伸びず、経営的にも憂慮すべき状況が続いております。

平成24年度予算の編成については、既にご存じのとおり、行政刷新会議による「事業仕分け作業」で、国の予算が約35%減額という厳しい状況となっております。また市内では、民間業者が今年から同様の仕事で参入しており、今後もさらに厳しい状況になろうと予測されます。

センター事業の実情、経営状況を会員・役職員が真摯に受け止めて危機意識を共有し、組織の充実や会員の増強、幅広い就業機会の拡大等による受注量の拡大に努め、効率的で健全な財政運営の確立に向けたセンターの取り組みを進めなければなりません。そのためにも今後、公共性を重視した事業展開の方向性と多様化する地域のニーズに対応できる組織体制の確立等を明確にする向こう5年間の「中期計画」を今年度策定いたします。

以上の基本的な考えをもとに、地域社会のニーズに応えるとともに、より一層市民から愛され、信頼される魅力ある公益社団法人府中市シルバー人材センターとして引き続き取り組んでまいります。

## 2 事業実施計画

### (1) 普及啓発活動の推進

普及啓発促進月間である10月の第3土曜日を「シルバーの日」として設定し、公園・駅周辺・病院周辺等のボランティア奉仕活動を実施し、地域社会に広く普及啓発活動を行う。

また、地域に対し、シルバーの理念や意義、仕組み等を理解してもらうために、会報「シルバー府中」、市広報紙、マスコミ等を積極的に活用したセンターの活動紹介やパンフレット等の配布によってシルバー事業の浸透を図る。

### (2) 就業機会の開拓

行政、町内、民間事業所、一般家庭等への積極的な訪問により情報収集に努め、役職員関係者はもとより職群の班員による就業機会の開拓、また会員自らが就業活動をとおして、受注及び就業機会の拡大を図り就業率の向上と自主財源の確保を図るよう努める。

### (3) 福祉・家事援助サービス事業の推進

今後、ますますの高齢社会の進展に伴い、高齢者世帯等からのニーズが急増しており、その受け皿として要望に対応できるよう事業の推進に努める。会員の資質向上及びサービス事業の円滑な運営を図り、地域の要望に応えるよう努める。

- ・ 高齢者の軽度生活支援事業の推進
- ・ 介護事業の補助等の役割を推進

### (4) 新規会員加入の促進及び会員の福利活動について

会員の増強はシルバー人材センター事業の根幹をなすものである。利用者の多岐にわたる要望に対応するため、健康で働く意欲のある会員の確保に努め組織の安定を図る。

- ・ SP・SSP事業の参加者へ機会あるごとに会員加入の促進を図り、特に女性会員への依頼仕事が多いことから、女性会員の獲得を目指す。

- ・ 会員の就業をとおしてロコミ等で勧誘活動を推進する。
- ・ 広報紙及びボランティア活動等でセンターのPRをして加入促進を行なう。
- ・ 会員傷害保険及び損害賠償保険加入

#### (5) シルバー派遣事業の推進

仕事の量的な拡大を図ると共に多様な労働形態に対応するためシルバー派遣事業を推進する。

#### (6) 会員の資質向上のため講習会の実施

発注者の多様な就業ニーズに適切に応え、また信頼確保を得るよう会員の技能・技術力の向上と効率的な遂行を図るため、講習会を実施する。

- ・ 剪定講習会（センター主催） 9月下旬予定
- ・ 草刈り講習会（センター主催） 4月下旬予定
- ・ 草取り講習会（センター主催） 4月上旬予定

#### (7) 就業の適正化の推進

就業希望の多い仕事について、雇用とみなされるような長期就業がみうけられる。「共働・共助」の基本理念に沿った偏りのない就業運営を実現することが重要課題であり、均等な就業機会を提供することを目標に適正就業の公平化の推進に努める。

#### (8) 安全適正就業対策の推進

昨年県内でも重篤事故が発生している。全会員が安全を全てに優先させる就業を自覚する必要がある。安全適正就業委員会を中心に就業中の事故未然防止と安全就業の徹底した安全指導及び安全適正就業基準を順守して無事故・無災害に努める。

- ・ 安全適正就業委員会の開催
- ・ 安全講習会の実施により安全意識の高揚を図る。
- ・ 各就業場所を巡回し、安全指導の強化を図る。

#### (9) 高年齢者のための無料職業紹介事業の実施

高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、「臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業」について、ハローワークと緊密な連携を図り、無料の職業紹介事業を実施する。

#### (10) 事務局体制の充実・強化及び関係団体との連携

業務打合せ等により、職員間の連絡を密にして効率的業務運営を図り、各種研修会にも積極的に参加し、自己啓発に努める。

また、関係行政機関及び各拠点シルバー人材センター等と連携を密にし、事業を円滑に推進すると共にセンターの充実・発展に努める。

#### (11) 安定的財政運営の推進

国・市に対し、シルバー事業の意義・必要性について理解をいただく要請活動と補助金の確保に向けて取り組む。また自主財源の確保に向け、人的資源を含めた効率的な投資、事務経費の節減、運営費等支出の見直しを分析・検討しセンター事業の安定的な財政運営に努る。

#### (12) 中期計画の策定

「自主・自立・共働・共助」というシルバーセンターの事業理念の原点に返り、向こう5年間において当センターがめざす目標を明らかにし、目標達成のための具体的な行動指針となる「中期計画」を策定する。